

豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

網走市議会だより

第124号（令和8年8月）

西小学校



子どもたちが議会を体験！

東小学校



10人の議員による一般質問……4-7P

網走市議会では、議会だよりについてのみなさまからのご意見を随時募集しています。



ボランティア団体「声の図書館そよかぜ」は、音訳したCDを作成し無償で配付しております。ご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルフォントを採用しています。

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会

6月定例会トピックス

第2回定例会概要（6/16～6/25）

第2回定例会は6月16日から25日までの10日間で開催されました。

議案として総額1億7692万2千円の一般会計補正予算（表1参照）、市税条例の一部、都市計画税条例一部の改正及び豆類ラック乾燥施設条例、農産物集出荷施設条例の制定、財産の取得2件について提案され、付託された各常任委員会で慎重に審査が行われました。

また、各常任委員会においては、北海道最低賃金改正等に関する請願、地方財政の充実・強化を求める請願、教育予算拡充とゆたかな学びを求める請願、すべての子どもにゆたかな学びを保証する高校教育を求める請願、意見書提出要請8件、陳情1件が付託審査され、審議の結果、5件の意見書の提出が決まりました。（3ページ別表参照）

6月23・24日には、一般質問が行われ、10名の議員が

登壇し論戦が交わされました。（4～7ページ）

定例会最終日の6月25日には追加議案として、高齢者福祉施設冷房設備設置に対する補助金94万9千円の追加が上程され、付託された文教民生委員会において慎重に審査されました。

審査後の本会議において各常任委員会委員長より審査結果の報告があり、全て原案通り可決されました。

また、網走市公平委員会委員、網走市固定資産評価審査委員会委員、網走市農業委員会委員の任命について、本会議において審査され、全て全会一致で決定されました。

定例会最終日・委員長報告の様子
立崎総務経済委員長 古田文教民生委員長



全国市議会議長会より 15年勤続表彰

井戸 達也（55）



令和8年6月23日、本定例会が開催されている議場にて表彰式が執り行われました。

金兵 智則（48）



市議会議員として15年目を迎える井戸議員・金兵議員・立崎議員の3名に対して、全国市議会議長会から勤続表彰が授与されました。

立崎 聡一（62）



多年にわたる市政の振興や市民生活の向上に不断の努力を重ね、地方自治の発展に貢献した功績を称えられました。

表1 主な補正予算

区分	No.	補正内容	金額
総務経済	1	認定農業者への農業機械等の導入に対する補助金	1,597万円
	2	農業団体への農業機械等の導入に対する補助金	1億3,894万円
	3	ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除に対する補助金	334万円
	4	麦類乾燥調製貯蔵施設の修繕に係る負担金（一部を補助）	1,650万円
文教民生	1	法改正に伴う国民年金事務システム改修費の補正	116万円
	2	寄付金を活用し、小学校学校図書の拡充を図るための追加補正	60万円
	3	寄付金を活用し、中学校学校図書の拡充を図るための追加補正	40万円
	4	高齢者福祉施設冷房設備設置に対する補助金	95万円

主な補正予算

令和8年6月定例会議案審査結果

令和8年第2回定例会の議決結果について（6月16日～6月25日）

○全議員が賛成した議案

議案第1号 令和8年度網走市一般会計補正予算	報告第1号 網走市税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について
議案第2号 網走市税条例の一部を改正する条例制定について	報告第2号 網走市都市計画税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について
議案第3号 網走市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について	請願第22号 2026年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出についての請願
議案第4号 網走市豆類ラック乾燥施設条例制定について	請願第23号 2027年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願
議案第5号 網走市農産物集出荷貯蔵施設条例制定について	請願第24号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書提出についての請願
議案第6号 財産の取得について	意見書第1号 2026年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出について
議案第7号 財産の取得について	意見書第2号 2027年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出について
議案第8号 令和8年度網走市一般会計補正予算	意見書第3号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書提出について
議案第9号 網走市公平委員会委員の選任について	意見書第4号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書提出について
議案第10号 網走市固定資産評価審査委員会委員の選任について	意見書第5号 急騰する奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書提出について
議案第11号 網走市農業委員会委員の任命について	

今年もやります！



議会カフェ

日時 10月18日(日)
9時30分～

場所 北コミュニティセンター

今年も「みんなの生活展」にて、議会カフェを開催します！市民の皆さまのご相談ご意見をお聞かせください！

ご来場を心より
お待ちしております！

3 議決結果

次回の議会は9月1日～18日です！

注目！！

9月議会は令和7年度決算審査特別委員会が開催されます。みなさまの傍聴をお待ちしております。

9 September

2026

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
30	31	1 開会 定例会（1日目） 決算審査特別委員会	2	3 定例会（2日目） 総務経済委員会	4 文教民生委員会	5
6	7	8 定例会（3日目） 一般質問①	9 定例会（4日目） 一般質問②	10 定例会（5日目）	11 決算審査特別委員会 ・企画総務 ・観光商工	12
13	14 決算審査特別委員会 ・農林水産 ・建設港湾 ・水道	15 決算審査特別委員会 ・市民環境 ・健康福祉	16 決算審査特別委員会 ・教育委員会	17 決算審査特別委員会	18 定例会（6日目） 開会	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

※上記日程は急に変更する場合がございますのでご了承ください。

一般質問から

将来の地域公共交通と倫理規制パワハラなど



無会派
古都 宣裕



問 将来どんな移動環境を市民へ提供していくのか、地域づくりそのものに関わる問題。人口減少が進み財政的制約も強まり、将来に市民負担を伴うのであれば、なぜ必要なのか、どのような効果があるか、説明責任があると考える。地域公共交通の将来像をどのように描いているか。

答 人口減少や労働、労働力不足を見ると、現在の公共交通もそのままの形で維持することは非常に難しい課題。交通環境を取り巻く要因は今後大きく変化すると考える。現段階において、固定的な優先順位を定めるのではなく、地域公共交通の骨格となる路線と地域内を保管する交通手段と役割分担が基本的な考え方。

問 10年後、20年後というのを考えた上でのビジョンは。

答 今後交通環境を取り巻く要因は大きく変化する。それに対応していく。

問 今のニーズを把握し何を残す必要があるかを考え、順位付けを持っていないと難しい。将来的なビジョンを市長の中でしっかりと持っていないと、進めていくうえで大変。市長の中だけでも構わないが考えをお持ちか。

答 JR問題については現在踏み込むつもりはない。10年後、20年後の見据え方は、様々な技術進展に対する取組、ライフスタイルなどの形の中で考えていくべき問題。

消費生活相談の対応 ごみ対応・街の美化



希政会
里見 哲也



問 相談内容と件数、市民への周知方法は。令和7年度の相談件数は189件、近年高水準で推移している。インターネットやSNSでクレジットカードに関するトラブルが上位。周知のため、さまざまな媒体を通じて注意喚起を行っている。

問 固定電話へ音声ガイダンスの怪しい連絡や警察を名乗る手法、闇バイトなど、誰でも被害・加害者になる可能性がある。市民を守る立場からは、警察とも連携が必要。

答 大学生や高齢者に対しても、紙媒体や出前講座など分かりやすい啓発に努める。

問 春の住民移動で違反ごみが増えている。新たに転入してきた方へは、ガイドブックを用いたり、大学生には説明会等を実施。違反ごみはステーションで注意喚起の掲示等を行っている。

問 ポイ捨て対応では、市民の自主的なごみ拾いに期待がある。「ピリカ」の効果は。

答 2年間で延べ1万1千人により、125万个を超えるごみを拾っていただき、また、企業や団体など多くの協力に感謝している。

問 ごみ拾いの他、花植えて景観の美化に取り組む市民もいる。

答 令和6年には知事の方針で環境保全活動功労者表彰を受賞したグループもあり喜ばしい。街の美化に今後も取り組んでいく。

在住外国人との共生 職員人材育成・職場環境



無会派
深津 晴江



問 在住外国人の人数、国籍、職種などは。2026年5月末565人と増加。インドネシア、中国、ベトナム等17ヶ国。水産加工、介護、宿泊業、交通など多様化。技能実習199名、特定技能237名、12人は永住者。

問 在住外国人の生活環境整備は。入国時研修にゴミ出し、住宅確保支援、日本語教室開催。「多文化共生推進事業」として「インターナショナルフェスタ・イン・アバシリ」「もちつき体験」等実施。在住外国人へのアンケート調査で「市民との交流機会」「ゴミ分別」「災害発生時の対応」「交通手段」等の意見が多く対応した。

問 市民と外国人同士が交流できる居場所づくりとワンストップ相談窓口の設置を。

答 「日本人」「外国人」と区別せず、等しく大切な住民とした環境づくりが重要。多様な課題を庁舎内横断的に連携して対応。

問 中途退職者および欠員状況は。

答 この5年間に中途退職者の総数は55名。退職理由は転職が最も多く28名。関東、関西、札幌などへの転出が35名。一般職1名、専門職が4名欠員。

問 働き続けられる・選ばれる職場をめざし、業務量・内容の見直しが重要。

答 スマート・シユリンクの考え方も取り入れ、事業・業務の整理を進め、開庁時間の短縮等、手段の検討もしていく。

一般質問から

地域コミュニティ維持について



研政会
古田 純也



- 問** 市は現在の町内会の担い手不足、脱退増加、解散リスクをどの程度深刻に受け止めているのか。加入率の推移、活動休止や解散に至った町内会の数、役員の高齢化や負担感について、どの程度把握しているのか。
- 答** 町内会加入率は令和8年3月末時点で56%で、214あった町内会も193に減少している。
- 問** 市がこれまで行ってきた町内会支援策は、担い手不足の解消にどの程度効果があったか。
- 答** 担い手不足対策でないが、今年度より「防犯灯の業務管理」を市へ移管したことも、町内会の負担の軽減に一定程度の効果があつたものと考えている。
- 問** 町内会に依存しすぎない新しいコミュニティの形を市はどのように描いているか。
- 答** 各地域の実情に応じて様々な形があるものと思われるが「必要な活動」とに、地域全体で広く分担しあうこと、「特定の人に負担が集中することなく、できる人が、できる時に、できる役割を担うこと」、こうした仕組みへと移行していくことが、新たな形の一つではないかと考えているところ。

物価高騰対策、ウニの陸上養殖、不登校対策



公明クラブ
永本 浩子



- 問** 中東情勢悪化による物価高騰が市民生活・事業経営に大きく影響しているが、当市への重点支援対策は1,814万円、市民一人500円とあまりにも少ない。使い道は。
- 答** 給食費の無償化に活用したい。
- 問** 長期化で更なる物価高騰の懸念。商品券の配布や事業所への金融支援等の対策が必要。
- 答** 国の動向や国際情勢を注視し、商工会議所等と情報交換して適切な対応に務めたい。
- 問** 気候変動による漁業への影響は深刻。特にサケは非常に厳しい。新たな対応策が必要。
- 答** フグ処理資格取得費用の助成を始めた。近年激減しているウニの養殖も検討しては。
- 問** 網走港に設置したカゴ養殖に取組んでいる。
- 答** 岩手県や道東では、気候変動に左右されない陸上養殖に取り組み、様々な技術を確立している。当市も陸上養殖に取り組むべき。
- 問** 陸上養殖は安定的に高品質なウニを出荷する有効な手段。現段階ではカゴ養殖に注力し、陸上養殖の情報収集や研究を進めたい。
- 問** 当市の不登校数100名を超え増加傾向。石垣市では校内フリースクールを設置し不登校数が30人減少。当市も設置すべきでは。
- 答** 教職員の確保が出来ず設置は難しい。子どもを変えるのではなく、学校が変わるのだ」との考えで、校内フリースクールを提唱した岡崎市の安藤校長の講演会を開催して頂きたい。必ず学びがあると考える。

公共交通の維持、子どもの安全対策について



無会派
金兵 智則



- 問** 人口減少や運転者不足が進む中、交通空白時間帯への対応や高校生の部活動後の帰宅手段など、どのように持続可能な公共交通を構築していくのか。
- 答** 現在の路線網を従前どおり維持することは困難である。高校生の移動実態なども把握しながら、多様な利用ニーズに応じた公共交通の最適化を図り、事業者と連携して持続可能な移動手段の確保に取り組む。
- 問** 通学路の危険箇所や不審者対策など、子どもたちの安全確保に今後どのように取り組んでいくのか。
- 答** 未対策箇所については、看板設置などソフト対策も含めて早急に検討する。防犯カメラの活用や不審者情報の共有方法についても検討を進め、子どもたちの安全確保をしっかりと進めていきたいと考えている。
- ※その他、公共交通ではどこバスの利用促進や担い手確保対策、子どもの安全では子ども110番の家や防犯情報の発信などについて質問しています。

項目	現状
バス運転手数	89人
バス運転手50代以上	7割超
タクシー運転手50代以上	9割超
維持に必要な採用数	年平均2.8人
担い手確保の目標	年4人

公共交通を支える担い手の現状(答弁より)

一般質問から

生ごみ処理について 学校統廃合について



日本共産党議員団
村椿 敏章



- 問** 市は1月29日、網走市と斜里町の事業系の生ごみは堆肥化。家庭系の生ごみは燃やすと説明。建設費と維持管理費は。
- 答** 焼却容量1ト当たり約2億4千万円の建設費が見込まれる。建設費負担43%（人口割）と大きい。事業系を堆肥化した場合、下表になる。
- 問** 堆肥化で建設費が大幅に下がる。網走市の家庭系生ごみの堆肥化で2700トも焼却量が減らせるのに、比較検討資料をなぜ示さない。
- 答** 分別負担の軽減などから検討していない。
- 問** では、昨年の分別率調査の結果は。
- 答** 下表のとおり。
- 問** 生ごみの分別率がすばらしい。市民に示せ。
- 答** 理解がある一方、理解不足もあるので分別の周知・徹底をする。
- ※他、学校統廃合について質問しました。

分別率の推移 家庭系（重量）

	7年度	前回との差
生ごみ	98.9%	9.75% ↑
埋立てごみ	59.9%	8.23% ↓
容器包装プラ	95.1%	10.59% ↑
資源物	81.5%	14.4% ↓

焼却炉の建設費、維持管理費

	全量焼却 51ト	事業系堆肥化 48ト	全量焼却との差額
建設負担金	36.4 億	32.3 億	4.1 億 ↓
維持管理費	2.2 億	2.4 億	0.2 億 ↑

市政課題への提言 おてつたび・学校再編



無会派
平賀 貴幸



- 1 保育料完全無償化に向けた課題が明確に**
- 答** 支払いが生じる人数と予算が明らかに
支払いが生じる人数：86人
必要額：約3,300万円（年間）
国の無償化の対象外となる0～2歳児の保育料を完全無償化するための人数と予算規模が明らかに。
- 2 学校再編で「子どもたちの声を反映する」方針を明言**
- 答** 子どもたちの意見を聴き、計画に反映
「子どもたちが自らの学校や未来を語り合う場を設け、その声を学校再編計画の策定の一環としてしっかりと反映させていきます。」と教育長が答弁。
- 3 郊外校でも検討協議会の開催を検討**
- 答** 地域の声を反映し、対話を継続
郊外校においても、学校の将来に関する検討協議会の開催を検討すると答弁。地域との対話を継続していく。
- 4 里親支援の推進で、子どもたちを地域で支える**
- 答** 里親支援の充実を提案
ファミリーサポートセンター事業の創設や、研修施設など運用支援を検討。
里親の負担軽減と支援体制の強化を推進
里親の負担軽減に向けた支援策を継続するとともに、関係機関と連携し、支援体制の強化に取り組む。

- 問** 財政見通しを土台に、ふるさと納税強化と財源を生かす施策を提案。保育料完全無償化と必要予算は。学校再編では子どもと地域の声の反映を求め、鉄道体験返礼品やふるさと納税とおてつたびの連携、里親支援については。
- 答** 財政は改善基調を維持し、ふるさと納税は具体化へ。保育料無償化は対象86人、約3,300万円の必要予算を明示し、体制強化を優先。学校再編は子どもと地域の声を反映し、地域との対話を継続するとともに、郊外校での検討協議会開催も検討する。おてつたび・鉄道体験返礼品や里親支援も検討する。

街の安全安心、新規就農、企業ふるさと納税



希政会
石垣 直樹

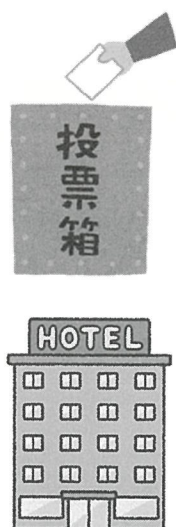


- 問** 飲食店街で発生しているトラブル、迷惑行為について、警察や商工団体を通じて、どの程度実態を把握しているか。
- 答** 防犯や治安維持に関わる事案であり、指導・取締りを含め警察の所管であると認識しております。権限を有する警察において適切に対応されるべきものと認識。
- 問** 網走警察署から当市は他の自治体と比べ、防犯カメラ設置数が少ないと指摘がある。
- 答** 市民の安心・安全を守る有効な手段。先行自治体の事例を収集し、検討を進める。
- 問** 新規就農者支援策について。離農者が増えているが、平均耕作面積は増えている。新規就農者確保に向け、他自治体の事例から独自支援策を網走市でも設けるべきでは。
- 答** 直近5年間で21件の方が離農している。離農者が手放した農地は、近隣農家などに集積されているが、スマート農業の推進や担い手の確保は非常に重要である。
- 問** 農大卒業生が小清水町に就農している。卒業後就農に繋げる取組、働きかけは。また、弟子屈町では新規就農者支援対策を事業化している。網走市の考えを伺う。
- 答** 一つの事例として受け止めている。オホーツク新規就農者対策会議、網走市第三者農業経営継承コーディネートチームを設置し対応しているところである。
- ※他、企業版ふるさと納税について伺いました。

一般質問から

問 網走市の宿泊施設や飲食店の不足により観光客の消費機会を逃している。市として積極的な企業（ホテル）誘致や、中心市街地の空き店舗対策を主導すべきではないか。

答 宿泊不足による機会損失は認識している。様々な意見を受け止め、観光客が増えるような施策を考えていきたい。



問 （水谷市長の）就任当初は、過去の懸案だった大型の事業を達成し、評価できる部分もあるが、逆に失策と考えられる事業もある。市長の4期目任期も残りわずかだが、この16年間の実績を踏まえて、5期目に挑戦するつもりか。

答 （市長答弁）熟慮してまいりたい。私の考えでは、5期目の出馬の可能性は高いと考えられる。市民に選択をしてもらうためにも、私たち議員も全力で選挙になるよう取り組む。

水谷市政の16年間



同志会
栗田 政男



“25年ぶり”に網走で開催！ 第89回北海道市議会議長会定期総会&議員研修会

- 北海道市議会議長会定期総会
- 場所：オホーツク・文化交流センター
- 日時：令和8年4月23日・24日

- ・毎年、北海道内の1都市で行われている北海道市議会議長会定期総会ですが、今年度は25年ぶりに網走市で開催されました。
- ・全道各市の正副議長が出席し、網走市からは松浦議長と永本副議長が出席しました。



◀開催市を代表して挨拶する
松浦議長

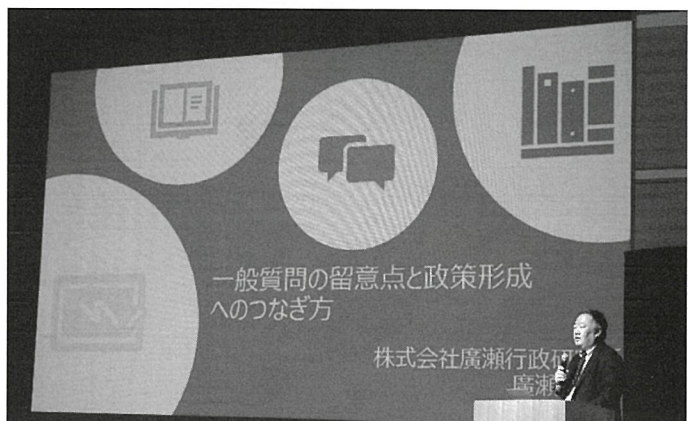
▼定期総会の様子



- 研修会：一般質問の留意点と政策形成へのつなぎ方

- 講師：廣瀬 和彦氏（株式会社 廣瀬行政研究所）

- ・定期総会開催に併せて、議員研修会を開催しました。
- ・北海道各市の正副議長に加え、網走市からは13名の市議が参加しました。
- ・研修は、全国各地の事例を基に進められ、一般質問を通して政策形成へつなげるための有意義な内容でした。



▲廣瀬講師による議員研修会の様子

総務経済委員会行政視察報告

委員長 立崎 聡一

5月12日に函館市において主にSNSを活用した国内・国外観光プロモーション事業を視察しました。

各種SNSを活用し、国内外向けのPR動画をそれぞれ作成し、発信。国内、国外における活用形態の違いから、より拡散するであろう手法を使い分けし、徐々に効果を上げている事業でした。

新規事業として、主に海外向けの観光PR動画を作成する事業を始めた網走市においても、活かすことのできる貴重な視察となりました。

翌13日は新潟県長岡市の中心市街地活性化に係る事業を視察しました。

「ミニファイエ長岡」という図書館や企業相談所などを複合した施設を中心として、コンパクトシティをうまく進めている事例でした。

人口減少が進みコンパクトシティ化が求められる当市においても、人口規模は違いますが、参考となる事業でした。



翌14日は新潟県十日町市で日本遺産「究極の雪国とおかまち 豪雪地ものがたり」を活かした地域活性化事業を視察しました。

十日町市は豪雪、網走市は流水。冬の気候を地域の活性化につなげている面では、少し似ている地域です。十日町市では冬の資源である雪を活用し、観光客やふるさと寄付額が増加しています。冬の資源の活かし方や地域としての取組は網走市としても参考となる部分が多かったです。

文教民生委員会行政視察報告

委員長 古田 純也

5月20日、沖縄県石垣市の教育支援センター「あやばに学級」を視察しました。

本市でも不登校児童生徒が増加しており、学校復帰支援や居場所づくりの充実が課題となっています。同学級は学級支援、社会性育成、自己肯定感の回復を重視し自然体験や社会体験など多様な活動を行っていました。専門職の継続的関与、地域資源を活かした体験活動、学校との密な連携は、当市の不登校支援に活かせる示唆が多かったです。

翌21日には糸満市の平和推進事業を視察しました。

沖縄戦争の最終激戦地として、語り部事業や資料館、学校教育との連携が体系化されており、戦争体験の継承を行政・教育・市民が一体化で進める先進的な取り組みでありました。網走市でも昭和20年の空襲被害の歴史があり、平和教育の深化に向けて学びが大きかったです。

同日、観光文化交流拠点



「シャボン玉せつけんくくる糸満」も視察しました。体験型観光、地域産品発信、市民交流を一体化した施設で、ネーミングライツの取組や交流空間の設計など、網走市の観光振興に応用可能な要素が多く確認できました。

最後に「糸豊環境美化センター」を視察し、広域連携によるごみ処理体制、財政負担方式、安全管理の徹底など、今後の広域処理施設整備に直結する知見を得てきました。